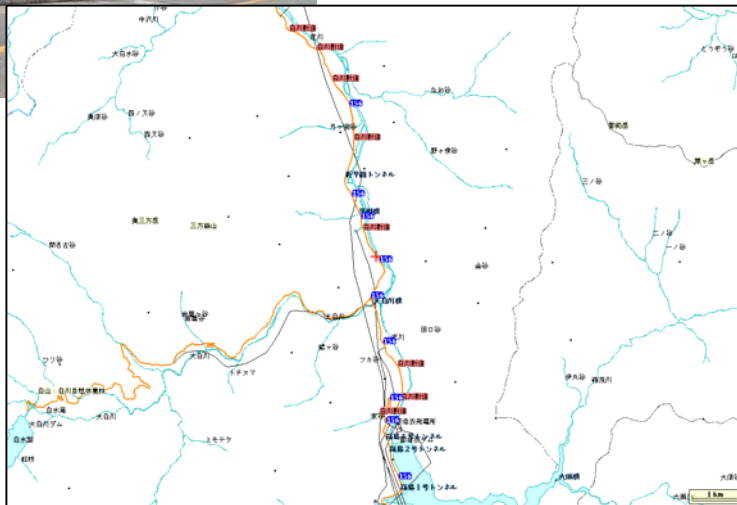




環白山あるもの探し
第三回 白川村 平瀬
2006. 2. 25~26



平瀬というところ



世遺産で有名な白川郷の南部に位置する。

西方には白山国立公園大白川があり、平瀬道登山口となる。南北に荘川が流れ、水力発電やモリブデン鉱の採掘などでこの地域ではいち早く近代化されてきた歴史がある。

今回のあるもの探しは、合掌作りの建築的要素の他、生活様式に重点を当てた、民族班と近代化に焦点を当てた近代史班の2班であるもの探しを行った。

事前講習



いつものように参加者に、あるもの探しを行うときの注意点ややり方を説明。当日の参加者の希望により二班に分かれる。



洗米をしているところ

今年の米はどうか？

白川村では、村内各神社の秋祭りとして有名な「どぶろく祭り」が行われるが、仕込みは冬の間に行う。

丁度この日、平瀬地区の今年の仕込みが行われるというので、急いで事前講習を終わり、早速全員で、作業上の見学をさせてもらった。



これが酒米じゃ！



地元の料理



山菜、豆腐、揚げを使った料理。特に豆をすり潰したコクのある汁は濃厚な味わいで絶品！



三世代しっかりと郷土料理が引き継がれています。

あるもの探し開始



近代史班



この地域でいち早く水力発電を行った平瀬発電所を見学。



良質のモリブデンが産出された坑道口。今は閉鎖されたが、そこから良質の湧き水。遠くからも汲みに来る人がいるという隠れた名水。

民族班



民族資料館として公開されている遠山家
数多くの民具が展示されている。
合掌作りの工法が屋根の内側から見学できる。



郷土力士白真弓の展示をしている
白弓スキー場のエントランス

地元史に詳しい三輪先生に講師をお願いし、遠山家
では、民具の使い方や呼び名、生活習慣などを学ぶ。
その他、地域内を見学し、郷土史なども学んだ。

資源カード作成 と エコツアーモデルプラン



いつものように、
資源カード作りは
深夜に及び旅館
へは寝に帰るのみ。

明日のエコツアー
のモデルコースプ
ランの事で眠れな
い夜。

2日目 成果発表



地元の方々も成果発表を聞きに訪れる。

平瀬温泉では、白山の自然の恵み(温泉や山菜、きのこ)を生かした、ゆっくり滞在型のプランが各班から発表された。